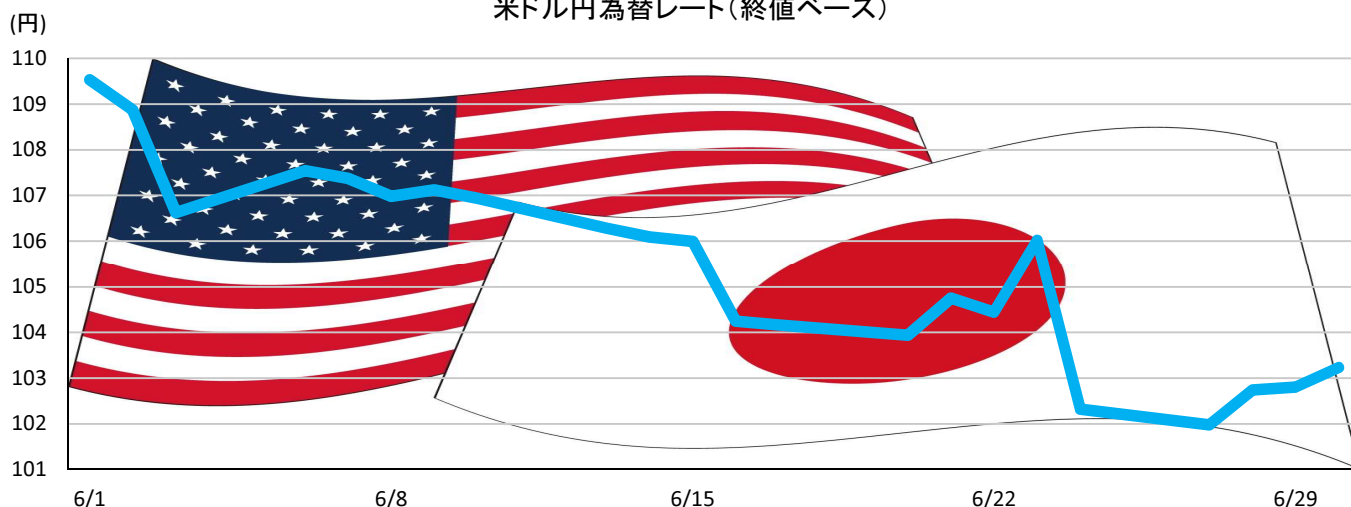


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 6月のドル円相場は、98円半ば～111円前半の幅で推移。早期米利上げ観測によりドル買いが進んでいたところ、米雇用統計の数値が市場予想以上に悪く利上げ観測後退からドル売りの流れに。また、日銀金融政策決定会合においても追加緩和が無かったことも円高の流れを加速させた。さらに注目されていたイギリスのEU離脱に関する国民投票で、予想に反して離脱派が勝利するというまさかの結果となり、市場はパニックに襲われることとなった。株式市場も暴落、ドル円にいたっては一時98円台をつけるなど、金融市場を襲った嵐はいたるところに傷跡を残すこととなった。

米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開: 米雇用統計が市場予想に反して悪く、早期利上げ観測が一気に後退したことからそれまでのドル高の流れが一変した。さらに日銀の追加緩和もなく、注目されていたイギリスの国民投票の結果、離脱派が勝利するというサプライズにより市場は一時パニックに襲われることとなった。このブレグジット・ショックから一時的に市場は落ち着きを取り戻しつつあるが、6月相場においてかなりの投資家が痛手を負った感は否めない状況だ。イギリスのEU離脱に関しては実際にはこれからということもあるが、離脱を推進してきたファラージ党首が辞任するなど混沌としている。米国利上げ観測も後退していることもあり、しばらくはリスクオフの状況が続くのではないだろうか。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
7 / 7 (木)	21 : 15	US	ADP雇用統計	☆☆☆☆
7 / 8 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
7 / 15 (金)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
7 / 21 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
7 / 26 (火)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
7 / 28 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
7 / 29 (金)	21 : 30	UK	米GDP速報値	☆☆☆☆